

読んで!

見て!

なすから議会だより

第73号

令和6年8月9日

令和6年山あげ祭
(7月28日)

議会だよりバック
ナンバーはこちら
から!
(市議会ホームページ)



那須烏山市

発行・編集 那須烏山市議会広報委員会
問い合わせ 議会事務局 (☎0287-88-7114)

議会新体制がスタート！

令和6年5月30日に開催された令和6年第2回6月定例会本会議において、市議会の新しい構成が以下の通り決定しました。

(◎は委員長、○は副委員長)

議長 青木 敏久

副議長 矢板 清枝

◇常任委員会

総務企画常任委員会

高田悦男 小堀道和 田島信二

◎興野一美 ○高木洋一



所管する課等

総合政策課、まちづくり課、総務課、税務課、会計課、議会事務局、監査委員、選挙管理委員会、固定資産評価審査委員会

文教福祉常任委員会

矢板清枝 滝口貴史 堀江清一

◎荒井浩二 ○平塚英教



所管する課等

市民課、健康福祉課、こども課、学校教育課、生涯学習課

経済建設常任委員会

青木敏久 渋井由放 中山五男

◎福田長弘 ○相馬正典



所管する課等

農政課、商工観光課、都市建設課、上下水道課、農業委員会

◇議会運営委員会

◎滝口 貴史 ○平塚 英教
・福田 長弘 ・荒井 浩二 ・堀江 清一
・興野 一美 ・相馬 正典

◇南那須地区広域行政事務組合議会議員

・高木 洋一 ・堀江 清一 ・青木 敏久
・相馬 正典 ・渋谷 由放 ・中山 五男

◇JR烏山線利用促進特別委員会

◎高木 洋一 ○渋谷 由放
・堀江 清一 ・興野 一美 ・青木 敏久
・高田 悦男 ・平塚 英教

◇議会広報委員会

◎堀江 清一 ○高木 洋一
・福田 長弘 ・荒井 浩二 ・興野 一美
・矢板 清枝 ・小堀 道和 ・渋谷 由放

◇議会選出監査委員

・小堀 道和

◇防災対策調査特別委員会(全議員)

◎平塚 英教 ○田島 信二

※議会改革推進特別委員会及び庁舎整備検討特別委員会の構成については変更ありません。

議長挨拶

令和6年6月定例会におきまして、指名推選により、第13代議長に就任いたしました。議長の大任を拝しまして、光栄に存じますと共に、その責務の重さに身の引き締まる思いでございます。

2014年5月に日本創生会議が「消滅可能性都市」リストを発表してから早10年が経過しました。今般、人口戦略会議が「消滅可能性自治体」リストを公表しました。再び「消滅可能性」が指摘された本市にとって、人口減少・少子高齢化対策は喫緊の課題です。

さらに、令和6年能登半島地震を踏まえた防災減災対策、デジタル化推進、脱炭素社会の形成、公共施設再編、JR烏山線利用促進等、様々な行政課題が山積しています。

二元代表制の一翼を担う議会の果たす役割は一層重みをましております。市民の皆様の負

託に応えられる開かれた議会づくりを推進し、市民福祉の向上と市政発展のために誠心誠意努めてまいります。その上で、豊かな自然と人の温もりのある、選ばれるまちづくりに邁進してまいります。

皆様におかれましては、より一層のご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



第13代議長 青木 敏久

議会の動き

令和6年5月

10日○議会だより第72号発行

23日○議会運営委員会

○議員全員協議会

30日○第2回6月定例会

(6月12日まで)

○議会運営委員会

○議員全員協議会

6月

5日○議会運営委員会

○議会広報委員会

6日○議会改革推進特別委員会

○JR烏山線利用促進特別委員会

7日○防災対策調査特別委員会

○各常任委員会

12日○議会運営委員会

○議員全員協議会

(開会前)

○議員全員協議会

(閉会后)

28日○防災対策調査特別委員会

(城東第一排水樋管及び

排水施設操作訓練見学)

7月

9日○庁舎整備検討特別委員会

○議会報告会プロジェクト

チーム

17日○議会広報委員会

27日○JR烏山線利用促進特別委員会

(山あげ祭開催期間中のお

出迎え)

29日○議会広報委員会

令和6年第2回 6月定例会のあらまし

那須烏山市議会6月定例会は5月30日に召集され、会期を14日間と定め、補正予算案や条例案など計10議案について審議しました。

また、6月5日から7日まで8人が一般質問を行いました。

会議録は市立図書館と市ホームページで閲覧できます。

令和6年度予算を補正

令和6年度の補正予算案が上程され、すべて原案のとおり可決しました。今回補正された主な内容は次のとおりです。

会計区分		補正前の額	6月補正予算額	合 計
一般会計		122億7000万円	9833万9千円	123億6833万9千円
国民健康保険特別会計	事業勘定	32億9843万2千円	372万2千円	33億215万4千円
熊田診療所特別会計		4049万5千円	453万7千円	4503万2千円

▼一般会計の歳出の主な内容	補正額
○児童手当制度の改正に伴う給与システム改修費	66万円
○新たに住民税非課税又は住民税均等割のみ課税となる世帯に対する給付金事業費	6902万7千円
○保健福祉センター非常放送設備の修繕費	320万7千円
○児童手当制度の改正に伴う児童手当システム改修費	279万6千円
○企業版ふるさと納税を実施する事業推進主体への交付金	700万円
○南那須土地改良区小白井用水地区の主配管修繕に伴う補助金	357万5千円

▼歳入の主な内容	補正額
○新たに住民税非課税又は住民税均等割のみ課税となる世帯に対する給付金事業及び児童手当制度改正に伴うシステム改修等の補助金	7342万6千円
○南那須土地改良区小白井用水地区の主配管修繕の補助金	227万5千円
○企業版ふるさと応援寄附金	699万9千円
○不足財源の補填として、財政調整基金の計上	966万9千円

令和6年第2回6月議会で審査された請願・陳情

番 号	件 名	審査結果
陳情書第2号	那須烏山市名誉市民について	不採択

条例制定・改正

那須烏山市個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部改正

マイナンバーを用いた他自治体間の情報連携の迅速化などを図るため、行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律が一部改正されたことに伴い、所要の改正を行いました。

那須烏山市税条例の一部改正

令和6年度の税制改正により、地方税法等が一部改正されたことに伴い、所要の改正を行いました。

主な内容は、個人住民税関係で、公益信託制度の創設に伴う寄附金税額控除の改正及び公益法人等に係る市民税の課税の特例の廃止です。

那須烏山市国民健康保険税条例の一部改正

地方税法施行令の一部改正に伴い、所要の改正を行いました。

主な内容は、国民健康保険被保険者間の保険

税負担の公平性の確保を図るため、国民健康保険税の後期高齢者支援金等課税額の限度額を引き上げるとともに、物価上昇の影響で保険税の軽減対象世帯の範囲が縮小しないよう、世帯の所得判定基準を見直すものです。

那須烏山市熊田診療所設置、管理及び使用料条例の一部改正

令和6年度からの熊田診療所の運営体制について、所要の改正を行いました。

休診日を毎週水曜日・土曜日・日曜日とし、診療時間は午前9時から午後5時までとなります。

那須烏山市長及び副市長の給料の減額に関する条例の制定について

市長及び副市長の給料の支給額を令和6年7月から1カ月間減ずることとするため、給料の減額に関する条例を制定しました。

報 告

令和5年度那須烏山市一般会計継続費繰越計算書について

令和5年第1回3月定例会において継続費の予算措置を行い、令和5年度内に支出の終わらなかったものを^{ていじ}繰越したことについて報告を受けました。

令和5年度那須烏山市一般会計繰越明許費繰越計算書について

令和6年第1回3月定例会において、翌年度へ繰り越す予算措置を行った企画一般管理費、児童福祉総務費等の繰越明許費について報告を受けました。

令和5年度那須烏山市一般会計事故繰越し繰越計算書について

令和5年度一般会計予算のうち、翌年度へ繰り越す予算措置を行った保健福祉センター施設整備費の内容について報告を受けました。

令和5年度那須烏山市水道事業会計予算繰越計算書について

令和5年度水道事業会計予算のうち、翌年度へ繰り越す予算措置を行った工事について報告を受けました。

そ の 他

専決処分の承認（那須烏山市一般会計補正予算（第1号）について）

令和6年度分所得税及び個人住民税の定額減税を実施するためのシステム改修等に必要の予算が生じたため、令和6年度一般会計補正予算の歳入歳出をそれぞれ488万4千円増額することについて原案のとおり承認しました。

専決処分の承認（那須烏山市税条例の一部改正について）

令和6年度の税制改正により、令和6年3月30日に地方税法等が一部改正されたことに伴い、4月1日から施行される部分について那須烏山市税条例を一部改正することについて原案のとおり承認しました。

人 事

人権擁護委員候補者の推薦について

人権擁護委員のうち、小林清美氏、大嶋恭子氏が令和6年9月30日に任期満了を迎えるにあたり、引き続き委員として推薦することについて同意しました。

令和6年第2回6月定例会審議結果

6月定例会では、報告案4件、補正予算案4件、承認案2件、条例案5件、人事案2件が市長より提出され、いずれも原案のとおり全会一致で可決しました。

定例会の審議結果一覧は市議会ホームページからご覧いただけます。

<https://www.city.nasukarasuyama.lg.jp/sp/page/dir000085.html>



傍聴者数

6月定例会の本会議日程と傍聴者数

月 日	内 容	傍聴者数
5月30日(木)	開会・上程・採決・付託	3人
6月5日(水)	一般質問	14人
6月6日(木)	一般質問	13人
6月7日(金)	一般質問	18人
6月12日(水)	報告・採決・閉会	6人
計		54人

YouTubeで6月定例会の本会議全ての録画映像を配信しています。



YouTube 那須烏山市議会

検索

表 彰

全国市議会議長会空き家・空き地問題に関する特別委員会委員として尽力された功績で渋井由放議員に感謝状が贈呈されました。



表彰を受ける渋井議員（写真右）

議会におけるペーパーレス化を進めています！

時代に即した市議会へと変革し、経費削減やSDGsの目標達成を目指す取り組みとして、那須烏山市議会では令和4年12月定例会よりタブレット端末を導入し、会議資料等の段階的なペーパーレス化を進めています。

令和6年第2回6月定例会からは、議会、執行部ともに紙での議案書配付を廃止し、電子データのみで議会を開催しました。

引き続き、ペーパーレス化をはじめとしたデジタル化の推進に努めてまいります。



タブレットを使用し会議資料を確認する議員

令和6年第2回

6月定例会の主な質疑



6月定例会の議員質疑の中から、主なものを要約して掲載しています。

令和5年度那須烏山市一般会計継続繰越計算書について

Q議員 認定こども園の予算執行は令和6年度のいずれの時期に行うのか伺う。

Aこども課長 認定こども園の園舎の新築工事については、現時点でマスター工程どおり順調に進んでおり、9割以上が終了しているところで、7月末に完成、引渡しとなる予定である。



令和7年4月に正式開園となる認定こども園

那須烏山市税条例の一部改正について

Q議員 寄付金税額控除の改正及び公益法人等に係る市民税の課税の特例の廃止という事だが、説明をお願いしたい。

A税務課長 新たに公益信託制度が創設され、法人または団体等が住民税から寄付金の税額控除を受けることができる。この条例の施行期日は令和9年1月1日を予定しており、令和8年中に寄付をされたものから対象となるが、今のところ市内には対象はないと考えている。

那須烏山市熊田診療所設置、管理及び使用料条例の一部改正について

Q議員 今回診療時間も変更になるということだが、医師報酬にどのぐらいの差額があるのか伺う。

A市民課長 昨年まで勤務されていた医師の報酬が2000万円強で、今回那須南病院と委託契約を結んでおり、医師報酬は1800万円程度となる見込みである。

令和6年度那須烏山市一般会計補正予算(第2号)について

Q議員 新規低所得者世帯支援給付金事業費6900万円は、対象世帯は何世帯で、いつまでに実施する予定なのか伺う。

A健康福祉課長 内訳として報酬から委託料まで合計152万7000円と、給付金として6750万円、合わせて6902万7000円を計上した。給付金の内訳は、対象世帯600世帯6000万円と、こども加算の児童数は150人750万円を見込んで計上している。11月末の完了を見込んでいる。

Q議員 農業振興費を700万円補正し、合計で3790万7000円になる。

令和6年度はどのような事業を実施する予定なのか伺う。

A農政課長 今回の補正内容は、産官学による里地里山プロジェクト事業ということで、企業版ふるさと納税の寄附金である。事業主体は、一般社団法人里山大木須を愛する会の農薬を使用した雑草刈りの実証実験、シンポジウム、または耕作放棄地を活用した西洋ミツバチの事業、大木須自然体験村の古民家整備事業等について使用するものである。



令和5年度に実施した雑草問題解決プロジェクト

Q議員 中学校施設管理費116万円の内容について伺う。

A学校教育課長 烏山中学校において視覚障がい生徒に配慮した修繕にかかる費用である。主なものとしては、校舎からグラウンドに出る外階段の手すり部分の修繕を予定している。



今年はACCUM
導入10周年「乗って
残そう烏山線！」

高木 洋一 議員

- ①人口減少対策について
- ②認定こども園(なすからこども園)の状況について
- ③神明畜産で発生した豚熱の状況について
- ④中学生海外派遣事業について



映像配信はこちら

人口減少対策について

Q 民間有識者グループ人口戦略会議が公表した消滅可能性自治体に那須烏山市が挙げられた。本市の人口減少率は65.2%で、本県で消滅可能性自治体に挙げられた8市町のうち、市としては一番の高さとなっている。一方、那須町は前回の消滅可能性自治体から脱却している。那須町ではふるさと定住課の設置などが功を奏したと言われている。本市でも人口減少対策として、新たな専属のグループや課などを設置してはいかがか伺う。

A 総合政策課長 本年度から、まちづくり課になすから暮らし推進グループを設置したところ。移住・定住策の促進とともに、シティプロモーションや地域学の実施による郷土愛の醸成により転出抑制を図って、社会減対策を進める。また、都市建設課内に住宅グループを創設し、空

き家を含め、総合的な住宅施策の推進を図ることとしている。

認定こども園(なすからこども園)の状況について

Q 認定こども園の開園に伴い統合されるにこにこ保育園の跡地、施設についてどのような利活用を考えているのか。例えば運動施設、スポーツジムや資料館として使用するのはいかがか伺う。

A 市長 洪水浸水想定区域内に立地しており、市民や利用者の安全・安心を考慮すると、ほかの用途として利活用するにはリスクがあるため、跡地や施設の利活用については、慎重に検討し判断してまいりたい。



今年度で閉園が決まっている
にこにこ保育園



議員定数
現16名を、削減に向け
協議中です。

中山 五男 議員

- ①「消滅可能性」に陥った本市の改善策について
- ②教育行政について
- ③肺炎球菌ワクチン接種費用助成の回数撤廃について



映像配信はこちら

「消滅可能性」に陥った本市の改善策について

Q 消滅可能性がある自治体として、本市が挙げられたことに、市民には強い衝撃を受けたものと思われる。本市の人口は合併当時31152人であったものが、19年経過する中で8145人減少し、その減少率は26%になる。

この率で減少し続けるなら、73年先に本市の人口はゼロになり消滅する。本市では人口問題を含め、様々な課題が山積しているながら、市職員はその危機意識を持たれているのか。

NHK大河ドラマ「光る君へ」の物語の中で「帝を支える者に能くば国は滅びる」と言われていたが、「川俣市長を支える者に能くば那須烏山市は滅びる」に通じる。

そこで、消滅の可能性があると考えた中で、持続可能なまちづくりにいかなる政策を立案し、実行される考えか伺いたい。

A 市長 本市が消滅可能性自治体に挙げられたことは、真摯に受け止めなければならない。

これまで様々な政策を展開してまいったが人口減少に歯止めがかからない。この現状を市内各種団体等多くの方々から厳しいご指摘をいただいている。市民の満足度、幸福度を高め、持続可能なまちを目指してまいる。

肺炎球菌ワクチン接種費用助成の回数撤廃について

Q ワクチン接種による免疫期間はおおよそ5年でありながら、接種費助成は生涯一度限りである。肺炎は高齢者死亡の主な要因であることから、回数を撤廃し、2回目以降も補助対象とし、高齢者の健康保持に努めるべきでないか。

A 市長 県内の他市町でも、助成回数は生涯1回のみが多数を占めている。2回目以降は希望者が自費で行うことが望ましいと考えている。



本年度も
特定健康診査を
受診しました。

平塚 英教 議員

- ①本市の認知症対策について
- ②防災集団移転促進事業計画について
- ③市街地の県道整備について
- ④本市の防犯灯について



映像配信はこちら

防災集団移転促進事業計画について

Q「那須烏山市災害危険区域の指定に関する条例」が制定され半年が経過する。移転対象の下境地区及び宮原地区において、説明会に参加されていない世帯への戸別訪問を含め、丁寧な説明と移転に関する意向確認を進めるとのことであった。この事業計画策定と国への認可申請手続きの進捗状況について伺いたい。また、防災集団移転促進事業の全体事業費及び市の負担額についても説明されたい。

A市長 防災集団移転促進事業は、前例のない事前移転事業であり、現在、役割分担やルールづくりを含めて国と協議を行っている。移転対象住民にとっても財産がある中での移転であることから要望も多岐にわたるため、適宜軌道修正を行いながら迅速に進めつつも慎重かつ丁寧に進めている。全体事業費や市の負担は国と協議

中であり具体的には説明できる段階にない。

Q下境地区の移転候補地整備に向け、旧境小の解体工事の進め方、宮原地区の移転候補地の確保はどのように進めているか。

A市長 旧境小の解体工事は、7月頃から校舎や体育館、プールなどの建物を解体する。9月から10月以降に遊具などの工作物や樹木などを撤去し、年度内には更地にする予定である。宮原地区の移転候補地については、民有地であるため地権者の理解を得ながら用地の確保に努めてまいりたい。



移転候補地整備に向けて解体予定の旧境小学校



夏本番！
暑さに負けない！

矢板 清枝 議員

- ①子育て施策の更なる充実について
- ②公共交通の充実について
- ③無秩序な大規模太陽光発電設備への規制策について



映像配信はこちら

子育て施策の更なる充実について

Qこども基本法が令和5年4月に施行され、各自治体では「市町村こども計画」の策定が努力義務となったが、本市ではどのような方針で計画を策定する考えかを伺う。

A市長 令和6年3月に、本市に住所がある4歳児以下の保護者にアンケートを実施した。その結果と子どもや子育てに関わる意見等を十分に反映させ、本市の状況に応じた施策を盛り込んだ計画を策定していく。

Q栃木県では、とちぎ少子化対策緊急プロジェクトにおいて、こども園等に通う第2子のうち3歳未満児の保育料を免除する市町に対し、県が2分の1を助成する新たな取組を本年10月からスタートするが、本市の考えを伺う。

A市長 保育料免除の取組については、県内全ての市町で取り組む予定であり、本市では10

月分の保育料から全額免除する方針で進めている。

Q栃木県では小さく生まれた子どもの家族の不安軽減のため「とちぎリトルベビーハンドブック」を作成し、各市町に配布したが、その周知方法及び支援策を伺う。

A市長 とちぎリトルベビーハンドブックは、出生体重が2,500g未満の低出生体重の子どもとその家族のうち希望する方に配布している。市のホームページで周知するほか、こども課窓口での出生手続きの際、ハンドブックの説明と希望の有無を確認している。医療機関や療育機関への通院、通所の機会も多くなり、保護者の心配や負担は大きいと感じている。保護者の負担軽減を支援するため、こども家庭センターの相談機能の充実に努める。



夏場の和紙作りは大変、
体調管理が重要です。

福田 長弘 議員

- ①定額減税の取組について
- ②観光資源の周辺整備について
- ③歴史的資料の管理状況について



映像配信はこちら

定額減税の取組について

Q市役所へ市民や市内事業者等から問合せはあるのか、またどのような対応をとっているのか伺う。

A市長 定額減税制度については、令和6年3月下旬から、市ホームページで広報しているところである。5月に住民税の税額決定通知を発送した後、10件程度の問い合わせがあったが、混乱は生じていない。本制度は非常に複雑な仕組みであることから、さらなる市民への広報を徹底すると共に、丁寧でわかりやすい窓口対応、電話対応に努めてまいりたい。

観光資源の周辺整備について

Q烏山城跡を観光資源として活かすためには公園整備とは別の整備も必要なのではないかと考えているが、市の考えを伺う。

A市長 烏山城跡の活用については、今年度、デ

ジタル田園都市国家構想交付金を活用したデジタル復元による城下町魅力発信事業に取り組んでいく予定である。事業内容は、AR技術を用いて烏山城跡や城下の街割りの復元を行い、スマートフォン上で見られるコンテンツを製作するものである。現在構築に向けた準備を進めているところであり、令和7年3月の運用開始を予定している。烏山城跡につきまちは、歴史文化遺産としての保存と観光資源としての活用を上手に連携しながら進めてまいりたい。



活用に向けて整備を進める烏山城跡



市内空き巣が
増えています！

荒井 浩二 議員

- ①こども家庭センターについて
- ②こどもの見守り支援について



映像配信はこちら

こども家庭センターについて

Q本市でも「こども家庭センター」が発足した。本市子育て支援サイトを、市民に寄り添った相談サイトのような構成に出来ないか伺う。

Aこども課長 現在は情報発信がメインとなっており、相談業務といったものを気軽に受け付け出来るようにはなっていない。使いやすい、見やすいサイトになるよう努力していく。

Q現在、本市の児童生徒が先生やカウンセラー等に直接口頭で伝える以外に、まなびPCから困りごと等を相談する方法はあるのか伺う。

A学校教育課長 子どもから先生へPCを通して相談が出来るような仕組みはなく、現状の課題となっており、検討を行っている。

こどもの見守り支援について

Q小学校の児童見守りタッチシステム(令和4年度決算額約467万円)はここ5ヶ月の平均利

用率で47%しか使われていない。時代に合わせた見直しが必要だと考えるが、現状を伺う。

A学校教育課長 議員の提案(見守りGPS)等も含めて検討している。

Q通学路や子どもが集まるような場所に見守りカメラは設置されているのか伺う。

A学校教育課長 公共施設に防犯カメラはあるが、通学路等に見守りカメラの設置はない。



<https://www.city.takasago.lg.jp/material/images/group/9/mimamoricamera3.jpg>

兵庫県高砂市:見守りカメラ全景写真及び設置表示看板



多くの市民の
意見や要望を
聞いて行動!!

堀江 清一 議員

- ①庁舎整備について
- ②防災集団移転促進事業計画について
- ③南那須地区広域行政事務組合保健衛生センターについて



映像配信はこちら

庁舎整備について

Q 女団連や商工会青年部等によるアンケート結果は参考にするという一方で、過去の一般質問においては、全世帯アンケートを実施するには時期尚早である、との答弁であった。多くの市民の声を聞くのであれば、全世帯アンケートを取るべきと思うがいかがか。

A 公共施設再編担当課長 必ずしもアンケートを取ることがすべてではないと思う。これまで庁舎整備ニュースレターやタウンミーティングや意見交換会の開催により、理解の醸成に努めてきたところだが、全ての市民に浸透しているわけではない。これまで積み上げてきた市民との直接会話を大切に、一つひとつ歩み寄りながら、その輪を広げて参りたい。

防災集団移転促進事業計画について

Q 過日の報道で、移転の対象のうち8世帯の住

民から同意が得られていない、とのことであった。その後5軒とコンタクトが取れたようだが、3軒はまだコンタクトが取れていない。国に事業計画を提出するめどは立っておらず、事業開始からすでに4年以上もたっている。甚だ事業の進捗が遅いように思う。今後のスケジュールを伺う。

A 市長 防災集団移転促進事業は前例のない事前移転事業であり、今なお役割分担やルール作りも含めて国との調整、協議を行っている。また住民にとっても自分の財産がある中での移転となるため、要望も多岐にわたっており、適宜軌道修正を行いながら、迅速に進めつつも、慎重かつ丁寧に進めている。着実に進捗しており、協議を重ねている段階なので、ご理解頂きたい。



本市の未来に
希望の光を灯すものは
何だろう

小堀 道和 議員

- ①市民のモチベーション高揚のためのシンボリック施設について
- ②市民の交わりを活発にし、まちに賑わいと活気を生み出す図書館経営について
- ③烏山線アキュム存続の一助について
- ④新入生にランドセル無償配布制度導入について



映像配信はこちら

市民のモチベーション高揚のためのシンボリック施設について

Q 新庁舎建設も重要だが、市民のモチベーション高揚を図るシンボリック施設建設はさらに重要と考える。市は安全安心のようなベーシックな項目を引き上げることが優先とのことで、第三次総合計画に何も反映されておらず他の市町に遅れをとると危惧している。また、庁舎単独建設でなく岩手県のおガール紫波のような官民連携の成功事例を参考に、必要な面積確保も含め、市役所や士気高揚を図る本市独自の道の駅などを総合して検討すべきだが見解を伺う。

A 市長 現在、喫緊の課題として庁舎整備に向けた検討を進めているが庁舎単体でなく、ホールなど市民の満足度向上につながる相乗効果の高い公共施設の集約化や複合化に取り組んでいく。市民の意欲、モチベーションは大変重要な

要素であるが、道の駅の整備だけで市民の満足度が高まるとは思っていない。

烏山線アキュム存続の一助について

Q アキュム導入は全国で烏山線・男鹿線のみだが、男鹿線にはSuicaが既に導入されている。アキュム存続のために男鹿市と友好都市締結を結ぶと共に、Suica導入もJRに強く求めて欲しいが見解を伺う。

A 市長 男鹿市とは、まずは烏山線の利用向上の観点から情報交換等も考える。現時点における烏山線の利用状況ではSuica導入は難しいが、チケットレスの新しい手段として、QRコード利用の新たなサービスが順次開始されるので、より一層利用向上に向けた取組を推進する。



特集

旅行会社に勤務していた朱香さんはハケ代の梨園農家の家庭に嫁ぎ、少しずつ農業の手伝いを始めました。約10年前、第二子出産を機に会社を辞め、本格的に梨園と水稻の栽培に取り組むようになりました。

最初はわからないことが多く本当に手伝いになっているのか不安になる時期もありましたが、今では梨園3.8ha 水稻14haを夫と共に管理運営



梨の剪定を行う朱香さん

しています。梨園では、さまざまな品種を栽培しています。毎日の作業は大変で繁忙期は早朝から夜遅くまで働いています。地域との取り組みとしては、梨の婦人部でJAまつりに出品したりスーパーで試食販売を行ったりしています。

昨年度、JAなす南管内で生産された梨の販売

那須烏山市で活躍する梨園農家、
あやか
中山朱香さんをご紹介します！



売額は初めて6億円を超え、過去最高を記録しました。梨はこの地域で米に次ぐ主力作物であり「にっこり」は東南アジアにも輸出されています。朱香さんは「おいしい」と言われた時や、たくさん収穫できた時に一番嬉しいと感じています。これからも明るく楽しく元気に活動し、皆さんに「おいしい梨をたくさん食べてほしい」と願っています。

中山朱香さんファミリー	
【夫】	陽樹さん(38歳)
【本人】	朱香さん(35歳)
【長男】	陸さん(12歳)
【長女】	芽衣さん(10歳)
プロフィール	
【趣味】	スポーツ全般 (バレーボール、空手)
【就農歴】	13年
【出身地】	田野倉

(文責 高木 洋一 議員)

那須烏山市議会は、公職
選挙法の趣旨を踏まえ、
初盆の挨拶をご遠慮させて
いただきます。

次回の9月定例会は、
9月3日(火) 開会予定です。

場所：那須烏山市役所南那須庁舎3階
(那須烏山市大金 240)

正式な日程は8月27日(火)に開催される議会
運営委員会で決定されます。

議会を傍聴してみませんか

議会を傍聴することは、市政を知っていただく最も
良い方法です。傍聴を希望される方は市役所南那
須庁舎3階までお越しください。

議会の日程等については、気軽に議会事務局にお
問い合わせください。(☎0287-88-7114)

あとかき

6月定例会において、議長、副議長をはじめ
議会の人事が刷新され、各議員、新しい役割を
全力で果たす気構えで臨んでいます。

今、那須烏山市は大きな事業を抱えています。
庁舎整備、防災集団移転促進事業、そして
那珂川町と一緒に取り組んでいる、保健衛生
センター(ごみ焼却施設)移転の問題。いずれ
の事業も、順調に進んでいるとは言えません。
議会には執行権がありません。したがって議
会には多くの市民の声をきちんと聞き、執行部
から提案された事業計画に対して意見や審
査をし、執行部と協議をしているところです。
那須烏山市の未来に向けて、負の遺産となる
ような事業であってはなりません。これから
も執行部と議会ですっかりと議論をし、多く
の市民の期待に応えていきたいと思ひます。

(堀江 清一 議員)